

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

そだちネットワーク部会 第4回

開催日時

平成 30 年12月7日(木)

参加者所属機関名等

飯山養護学校・北信保健福祉事務所・中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村・母子通園施設いちご学園・児童養護施設飯山学園・未来工房つむぎ・カラー's中野・北信教育事務所・事務局(北信圏域総合相談支援センター)

本日のテーマ、課題等

(1)全体共有 (2)各ワーキンググループ活動 (3)各ワーキンググループの報告 (4)その他

会議で話し合われた事

(1)全体共有

- ①「医療的ケア児等支援のための協議の場の設置」に係る検討について
- ② 飯山養護学校特別支援教育連携協議会の報告

(2)各ワーキンググループ活動

①子どもの支援ワーキング

・義務教育段階の小学校から中学校までの支援が途切れない為のシステム作りの検討を進めている。作成した入力システムのデータ管理やシステムの名称について検討するとともに、さらにかゆい所へ手が届く形へ改良していく事について共有した。また、中学校版についても小学校版の良い部分を使いながら作成を進めていく。

②家族に寄り添う支援ワーキング

・「だれもが当たり前のように相談できる環境」を作っていくために、早期から相談の大切さや相談する事のメリットを知る事ができるためのリーフレットについて、レイアウトや内容について検討を進めた。内容は相談する事がプラスになることがイメージでき、また文字の量は絞って読みやすいものにしていく。今後は原案を基に改良を重ねていく。

③ネットワーク充実ワーキング

・「支援関係者のための相談マップ」の検討を進めた。現状で北信圏域には関係機関のネットワークができているため、まずは各市町村の窓口へと連絡し、そこからチームを作っていく形が望ましい。今後は窓口の連絡先を載せたシンプルなものを形にして配布し、実際に使う中で修正や改善をおこなっていく。

④重心・医ケアワーキング

・第2回の親の会について具体的な内容を検討した。しろうまネットワークについての紹介や、フローチャートを用いて、実際に災害時にどのようにつながっていけばよいのかを体験してみる。また、茶話会(情報交換)についても楽しみにされている方が多いため引き続き行っていく予定をしている。

(3)その他

今後に向けて

●WG活動ごとに活動内容等を検討し進めていく